

市制施行45周年記念 祝45



星野順一郎市長

まち・我孫子

今回は、国際アンデルセン賞の作家賞を受賞した市内在住の上橋菜穂子さんをお招きし、受賞の感想や今後の抱負について伺いました。

国際アンデルセン賞を受賞して

星野順一郎市長(以下、市長)
昨年は国際アンデルセン賞の受賞おめでとうございます。多くの市民の方が今回の快挙を喜んでおります。まずは、受賞の感想などをお聞かせください。授賞式は、確かメキシコでしたね。

上橋菜穂子さん(以下、上橋)
ありがとうございます。国際アンデルセン賞は、あの「ムーミン」のトーベ・ヤンソンさんや「長くつ下のピッピ」のアストリッド・リンダグレンさんなど、世界中のそうそうたる作家たちが受賞しているのです。私がいただくなんて信じられないことでした。私の「守り人シリーズ」は、多様な国の言葉で訳されているので、審査員の皆さんの多くは、私の本を自分たちの言葉で読んでくださったわけですね。授賞式で一番感激したのは、11カ国からの審査員たちがわーっと全員立ち上がって「バルサ*、大好きだよ!」などと言って抱きしめてくださったんです。つまり、物語の面白さを世界共通で分かってくたさるという感覚という



か、言葉や文化は違うけど、物語を愛する心の垣根が本当に低いなと感じました。

市長 実は、私も上橋さんの作品を読むようになったのは、受賞の報告を聞いたのがきっかけでした。それが読みはじめたら、実に面白いんです。やめられなくなってしまいました。全部読んで、今は「獣の奏者シリーズ」の外伝を読んでいます。これを読み終わったら、新刊の『鹿の王』を読みたいと思っています。市内にもたくさんファンがいると思います。今回の受賞を広報やホームページで知って読み始めた方も結構いるんですよ。

上橋 どうもありがとうございます。本当にうれいんです。ここ我孫子市で市民文化スポーツ栄誉章をいただいて、本当に幸せでした。

市長 この栄誉章は、スポーツや文化・芸術活動で功績があり、我孫子の名前を広くアピールした方々を表彰するもので、これまで5人の方々を表彰しています。

上橋 私としては、ものすごく大きな榮譽をいただいたと思っています。ありがとうございます。やはりスポーツ分野は世界で活躍される方が多いという気がします。スポーツの場合はルールが明確に決まっていますので、努力する方向性が見えやすいと思うのですが、文化的なものは、各国の文化の中で共通の価値観でどう計るかってなかなかできないので、そうした中でいただけたというのは、大変な名誉なことですね。

市長 市内で文学というところが、一昨年は日本ファンタジーノベル大賞の古谷田奈月さん、すばる文学賞の奥田亜

上橋菜穂子さんプロフィール

作家、文化人類学者。川村学園女子大学特任教授。1989年に『精霊の木』で作家デビュー。『精霊の守り人』をはじめとする「守り人シリーズ」、「獣の奏者シリーズ」ほか著書多数。最新刊に『鹿の王』上・下巻がある。

国際アンデルセン賞

国際児童図書評議会が表彰する国際賞で、作家賞と画家賞がある。「児童文学のノーベル賞」とも言われ、個々の作品に対する評価ではなく、児童文学への永続的な貢献を観点に作家の全業績に対して贈られる。上橋菜穂子さんの受賞は、日本人では、まどみちおさん以来2人目。



▲国際アンデルセン賞の授賞式

市長 私も市長になった時、白樺派の文人が書いた作品を授業の教材に取り入れられなかったかと思いましたが、例えば、志賀直哉の『和解』の中での大光寺周辺の記述とか。我孫子の子どもなら、その部分を読みながらイメージできますよ。

上橋 それはすごく大きいと思います。自分の知っている所が、文学作品の中で文章になっている過程が分かる部分ですね。こんなことはなかなかできない。でも、教材とする

希子さんと1年のうちに二人の市内在住の女性が受賞されています。今回の上橋さんもうですけれど、すごいことだと思います。

上橋 我孫子は、白樺派に代表される文学の地ですね。やはり、この我孫子の風土というか、抱えている雰囲気がある。落ち着いている感じがします。落ち着いている中に、

何とも言えない風光明媚な感じというのですか。やはり手賀沼のおかげかもしれませんけれど、光がやさしいし明るいような気がします。それでいて繊細なんです。タイムスリップして志賀直哉さんのお目にかかれたらどんな事をおっしゃったろうなと思います。物語を書く、文学を綴るにはとてもいい土地だなと思っています。

*1 バルサ…「守り人シリーズ」に登場する女用心棒。